

愛ちゃん と 希望くん



©中央共同募金会

やわたはま

# 社協だより

# 76

平成30年10月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

## 10月1日から「赤い羽根共同募金運動」スタート！ ご協力よろしくお願ひします



除雪支援

自分たちでは限界があり  
困っていたところでした



高齢者サロン

生活にはりができ  
健康になりました



障がい者スポーツ

たくさん笑って気持ちのいい汗を  
流すことができました



いのちの電話

話を聞いてもらって勇気が出た



### 私たちも、

### に助けられました。

学習支援



算数や国語、社会、理科 など  
幅広く活用できました

災害ボランティア支援



ボランティアさんの一生懸命な姿に  
勇気と希望をもらいました

子ども食堂



ひとりでご飯と違う味がする

百両犬の育成



“2人連れ”で歩くのは  
とても心強い

高齢者への配食サービス



訪ねてくれるのを待っています

車椅子の移動車両



乗り心地も良く使いやすくなりました

子育て支援



子育てへの気持ち❤�が  
ガラリと変わった、利用してよかった

障がい者の就労支援



自分の仕事に誇りを持ち、自信となり、  
日々の作業の励みになっています

みなさんの募金が、困っている誰かの「ありがとう」につながっている。  
募金が「ありがとう」につながれば、それがまた新しい募金へと連鎖していく。  
「募金」が「ありがとう」になり、「次の募金」へとつづく。  
赤い羽根共同募金は、小さなことを（たくさん）しています。  
そしてその活動は、たくさんの「ありがとう」につながっているのです。

あの人を、すべての人を、支えたい。

## 赤い羽根共同募金

WEBサイトも見てね！



### 赤い羽根啓発パレード

By松蔭小学校校鼓笛隊

松蔭小学校校鼓笛隊のすばらしい演奏によって、平成30年度の八幡浜市赤い羽根共同募金運動がスタートします。あたたかいご声援、よろしくお願ひします。

日時 平成30年10月1日(月) 15時30分～(荒天中止)

場所 八幡浜市役所→新町5→新町1→銀座商店街→八幡浜市民図書館

### 八幡浜市共同募金配分金助成事業 助成希望団体募集！

#### 助成対象

八幡浜市内に活動拠点があり、住民の福祉向上のために活動する団体。

#### 助成対象事業

ボランティアグループの先駆的・開発的・創造的的事业。在宅福祉・地域福祉を推進する活動。

#### 応募方法

助成申請書は、八幡浜市社会福祉協議会のホームページからダウンロードするか、直接請求のにて。

#### 助成金額

1団体3万円。

#### 助成期間

平成31年3月31日

#### 応募期間

平成30年10月1日～31日

#### 配分決定

配分委員会の審議を経て決定

平成29年度 赤い羽根共同募金実績 (〜P6)

あたたかなご寄付・ご協力、ありがとうございます！

平成29年度 共同募金の使い道 **9,836,000円**の共同募金配分金を受け、様々な福祉事業を行いました

分野	事業名	配分金(円)
高齢者福祉のために	ふれあい・いきいきサロン	700,000
	ひとり暮らし老人のつどい	698,181
	給食サービス	2,646,322
障がいのある方への支援を	障がい者団体支援助成	200,000
	浜っこふれあい広場助成	30,000
子どもの健全育成のために	子育てサロン	325,733
	ふれあい子育てサロン研修会	48,380
	少年式行事記念品	133,000
	親子ふれあい事業	200,000
	卒業生激励事業	200,000
さらなる地域福祉の推進を	地区社協活動助成	3,842,302
	地区社協だより発行	24,000
	社協だより作成	183,292
	福祉教育推進	1,080
	四国地域福祉実践セミナー	223,600
ボランティア活動の推進に	ボランティア協議会団体助成	100,000
	ボランティア団体配分助成	193,075
	ボランティア活動報告会開催	87,035
合計		9,836,000



ふれあい・いきいきサロン (江戸岡地区) すみれ会



地区社会福祉協議会 (双岩地区) 給食サービス事業



八幡浜市ボランティア協議会 24時間テレビ募金協力

平成29年度の共同募金運動では、**9,482,804円**のご寄付をいただきました。

### 職 域 ・ 団 体 募 金

団 体 名	金 額	団 体 名	金 額	団 体 名	金 額
神山幼稚園	4,000	千丈保育所	4,000	西宇和農業協同組合本店	5,000
保内幼稚園	4,000	川上保育所	4,000	八幡浜税務署	12,000
松蔭小学校	14,500	真穴保育所	4,500	点訳サークル 竹の子会	19,000
千丈小学校	11,500	双岩保育所	7,000	朗読ボランティア どんぐり	8,620
神山小学校	21,000	日土保育所	3,000	ふれあいルーム ラ・クール	7,289
真穴小学校	8,500	喜須来保育所	5,500	八幡浜市遺族会	9,000
双岩小学校	12,000	川之石保育所	7,000	八幡浜市・八幡浜保内赤十字奉仕団	68,629
日土小学校	5,500	宮内保育所	10,000	連合婦人会	10,000
喜須来小学校	23,500	南予地方局八幡浜支局	104,500	国際ソロプチミスト八幡浜	10,000
川之石小学校	12,500	八幡浜警察署	6,500	フォークダンス愛好会	6,700
宮内小学校	18,471	八幡浜地区施設事務組合消防本部	41,500	南予歌謡同好会	125,729
愛宕中学校	16,500	市立八幡浜総合病院	4,000	磯津地区社会福祉協議会	2,000
松柏中学校	14,000	特別養護老人ホーム 青石寮	39,500	磯津地区民生児童委員協議会	2,000
八代中学校	17,000	八幡浜市シルバー人材センター	3,000	八幡浜市社協本所松柏	20,910
真穴中学校	7,000	八幡浜商工会議所	10,500	八幡浜市社協健康クラブ	21,849
保内中学校	16,000	八幡浜青年会議所	23,000	八幡浜市社協保内支所	18,450
八幡浜高等学校	62,000	八幡浜ロータリークラブ	25,000	湯島の里	22,067
八幡浜工業高等学校	11,200	八幡浜市青少年補導員会	10,000	あけぼの荘	24,719
川之石高等学校	39,500	保内町商工会	3,500		
愛宕保育所	9,500	伊予銀行八幡浜支店	40,000		
松蔭保育所	7,000	伊予銀行矢野町支店	6,500		
白浜保育所	29,500	愛媛信用金庫江戸岡支店	3,000		
				合計	1,124,133

### 戸 別 募 金

地 区 名	金 額
江 戸 岡	443,250
松 蔭	557,050
白 浜	605,690
千 丈	500,400
神 山	613,115
舌 田	113,800
真 穴	181,300
川 上	200,000
双 岩	286,500
日 土	249,074
喜 須 来	235,000
川 之 石	218,380
宮 内	301,000
磯 津	53,480
合 計	4,558,039

### 街 頭 募 金

団 体 名	金 額	団 体 名	金 額
地区民生児童委員協議会・ 地区社会福祉協議会	65,571	八幡浜市・ 八幡浜保内赤十字奉仕団	56,347
愛宕中学校	47,700	角笛を観る会・ ふれあいルーム「ラ・クール」	12,753
八代中学校	73,272	精神保健ボランティア 「はまかぜ」	12,691
八幡浜高等学校	1,986	八幡浜市食生活改善推進 協議会 白浜支部	10,444
八幡浜仏教会	52,998	巢立ちの会・スマイル	20,637
八幡浜市老人クラブ連合会	52,259	保内身体障害者協議会	14,167
八幡浜市遺族会	23,618	新町八日市 街頭募金 (市長・市議会)	10,324
保護司・更生保護女性会	52,670	共同募金啓発パレード	8,809
八幡浜市母子寡婦福祉連合会	42,227	八幡浜市社協	12,299
八幡浜市ボランティア協議会・ 八幡浜心身障害者(児)団体連合会	35,407	合 計	606,179







# 生活支援コーディネーターのひとりごと 集いの場 通称「昭和の乙女の会」を紹介します



生活支援  
コーディネーター  
前川 恵美子

大黒町の川本ビル1階に、お弁当や店主手作りの巻き寿司、いりこみそ等を販売しているお店があります。八日市でも販売していましたが、店主のHさん（82歳）の足腰が弱り立っていることが辛くなったため、現在は店舗販売のみをされています。

そんなHさんの人柄に誘われて集うOさんは、ある月の八日市でお饅頭を購入し、休憩中のお遍路さんにお接待をしていました。そんなOさんの姿を見たHさんは、「この方は信頼できる」と感じ、お付き合いが始まったそうです。他のメンバーも、市場で仕入れた魚を持参する方、手作りの草履や野菜を提供する幼馴染、新聞配り途中に一休みする方、花を生ける方、市場での仕事の合間に立ち寄る魚屋さん、デイサービスの送迎待ちをする同ビルの入居者等、様々な方が自然に集い、つながっています。

Hさんのお店は、自由にフラツと立



営業時間は日・祝日を除く 8時30分～15時

ち寄ってお茶をしながら語り合う居場所であり、手作り品や不要となった衣類等を無料または安価で提供し合える場所でもあります。  
「ここは誰でも来て良い場所。たくさんの方に利用してもらえたら嬉しい」と、控えめにほほ笑むHさん。近所に住む娘さんの「生きがいにつながれば」との温かな想いや、「集う場になっていくのであれば」と荷物の運搬やHさんの送迎をしてくださるビルのオーナーさんの支えも、継続の力になっていると感じました。  
ぜひ、フラツと立ち寄ってみませんか？

# “見守り” から暮らしを支える 独居高齢者等見守りネットワーク事業

独居高齢者等見守りネットワーク事業では、各地区の見守り推進員が、一人暮らし高齢者や高齢夫婦世帯等を訪問し、暮らしの変化やお話を伺っています。困りごとの早期発見や安否確認、必要なサービスに繋げるなどの目的のもと、市内全地区で取り組んでいます。  
各地区では、高齢者の様子や活動について共有し合う『見守りネットワーク連絡会議』を開催しています。見守り推進員、協力員、民生委員、地区社協役員、地域包括支援センター、市社協が集まり、個人情報に留意しながら話し合います。

会議では、見守り推進員から「訪問を楽しみに待っていてくれた」「最近いろいろ話をしてくれるようになった」等の報告があり、見守り活動のやりがいにつながっています。高齢者から見守り推進員へ「あなたも気を付けてね」と声をかけてもらうこともあり、「見守り活動はお互い様が大事」との声もありました。  
また、「高齢者が抱える不安や困りごと」にどのように寄り添い、支えていくか」という悩みや意見が多く聞かれます。平成30年7月に八幡浜市で豪雨災害があった際には、高齢者が避難できるような声をかける等、安全のため



川之石地区 約40名が集まり意見交換

に行動した見守り推進員も多くなりました。  
「最近、歩くのがしんどそうだ」「認知症が進んだかもしれない」等、見守り推進員の細かな気付きが、暮らしの安心や福祉の対応に繋がっています。防災や福祉の関係者とも意見交換を行いながら、日常からいざという時に助け合える、相談できるネットワーク作りが各地区で進められています。

# 平成30年7月豪雨に伴う 市社協の動き・ボランティア活動の報告

平成30年7月6日（金）から降り続いた雨により、西日本各地、そして愛媛県は甚大な被害を受けました。被災された皆さまには、心からお見舞い申し上げます。社会福祉協議会は、災害により大規模な被害があった場合に、「災害ボランティアセンター（以下、災害VC）」を立ち上げ、ニーズの把握やボランティアの募集及び調整に当たります。



ボランティア活動前にオリエンテーション

床下浸水が288世帯、土砂崩れ等により半壊等87世帯、全壊11世帯が被災しました。市社協としては、八幡浜市と相談をしながら、災害VCという形は取らず、市内の状況把握やニーズの確認を行いました。

## 市内各地で甚大な被害 多くのボランティアの 支援に感謝

千丈地区の南柏では、山肌が崩れ、線路を超えて家に襲い掛かり、複数の民家が大量の土砂に埋もれました。市社協を通じたボランティア以外にも、消防団や地元住民等、多くの方が支援にあたり、早期の復旧に向けて取り組みました。

松蔭地区の広瀬、神山地区の古町では、民生児童委員や見守り推進員が被災者に寄り添いながら、ボランティアや市社協職員と共に床上浸水により濡れた畳や家財の掃除、片づけ作業に当たりました。



南柏における土砂撤去作業の様子

日土地区の出奥では、大量の土砂が3世帯に流れ込みました。被災直後から消防団ら地元の住民が連携を取りながら土砂の撤去作業に当たっており、地元住民が仕事等のため活動し辛い平日を中心に、市社協を通じたボランティアにも活動していただきました。

今回のボランティア活動には、個人の方、企業・団体の方等、延べ216名にご協力いただきました。川之石高等学校は、野球部を中心に長期的に熱心に活動していただきました。多くの支援をいただき、ありがとうございます。

市社協としては今後、「地域支え合いセンター」を八幡浜市より受託し、



出奥で支援活動にあたる川高野球部

## 養護老人ホーム 「あけぼの荘」も 床上浸水により被災

八幡浜市から指定管理を受けている「あけぼの荘」も床上浸水し、入所者の居室を含む1階全域に泥水が侵入しました。全入所者には一時2階や保内支所、ショートステイ等に避難していただきました。そして、被災直後から市社協全職員は元より近隣施設の職員や近隣住民も応援に駆け付けていただき、後片づけに当たりました。

被災した皆さまに継続した支援を継続・展開してまいります。